

様式 8

事業実績報告書

(団体名 : 葛城描こう展実行委員会)

事業名	葛城描こう展 (スケッチ会 in 葛城)
実施した場所	當麻寺 及び 周辺
参加者・実施回数等	57名 1回目 (途中参加、早退者数名含む)
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	午前 10 時より参加者に、当会の主旨の説明、及びパネル等でスケッチの要領、スケッチポイントの解説、及び注意事項の説明を行う。 その後、各自が描きたいポイントに向い、スケッチの開始。会員スタッフ 3 名が現場を回り、個別的アドバイスをを行う。 午後 3 時より参加者の作品を一点ずつイーゼルにのせ、会員スタッフにより講評会を行う。(於 集合場所の文晁堂ギャラリー) スケッチの途中で雨に見舞われたが、最後まで熱心に取り組むことができ、また、講評会で描くヒントを得られたと、次回実施要望の声も多く聞かれた。
得られた効果	市内外を問わず、多くの人々に葛城市に来ていただき、現地でスケッチすることによって葛城市の良さとその魅力を新たに感じ取り、終了後の一堂に会しての講評会で技能の向上と相互親睦に役立った。
今後の展望	参加者の要望に応じて今年 3 月 24 日に第 2 回スケッチ会を予定。秋も 10 月に第 3 回を予定に組み込み。 これを機に、年 2 回のスケッチ会開催を定期事業にすることを図る。 この素晴らしい葛城の景観を更に多くの人にアピールし、観光と文化を通じて町興しにつなげたい。また、市内各施設でも展示することも考えていきたい。
事業を実施してみた感想など	駅ポスターの掲出は助成金無しでは不可能なことだったが、その効果は参加人数を遥かに超えて大きかった。 当地は勿論、大阪方面の参加も多く、また、東京から観光目的で来た人の特別参加もあった。

この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式 8

事業実績報告書

(団体名： 日の谷水車蕎麦の会)

事業名	日の谷水車蕎麦の会
実施した場所	葛城市平岡
参加者・実施回数等	実施回数：9回 参加者：239人(初年度80人を含む)
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	5 / 1 5 蕎麦打ちをして村民に提供 5 / 2 1 日の谷水車周辺に水仙の定植 9 / 8 蕎麦の種まき 9 / 1 1 日の谷水車周辺堤の草刈 9 / 2 5 蕎麦打ちをして村民に提供 1 1 / 1 山麓7ヶ大字協議会発足 1 1 / 6 蕎麦打ちイベント 1 2 / 2 5 蕎麦打ち講習会 3 / 1 8 蕎麦打ちイベント
得られた効果	村民の参加意識が高まり、また他村の方々との交流も増え、地域活性化に繋がっている。 蕎麦打ち技術が向上し、自信を持って広めていけそうだ。 水車小屋及び村全体の環境整備に村民が気を遣うようになった。 山麓7ヶ大字ともタイアップができ、協議会も発足できた。
今後の展望	休耕水田がなくなり、今後も休耕水田を有効に活用していける。 水車小屋周辺の環境整備をより具体化し、多くの方々が訪れる憩いの場にしていく。
事業を実施してみた感想など	当会を作り2年経過して、当会の内容が村民に浸透しつつあり、また活性化もしてきた。 今後、村民のより強い参加意識の向上と、より広い地域の方々との交流を深め、発展していきたい。

この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式 8

事業実績報告書
 (団体名：特定非営利活動法人 葛城市きてみてネット)

事業名	ウェルカム・トゥ・葛城市 (Welcome to KATSURAGICITY)外国人訪問客誘致のための日本語、英語、韓国語、中国語、フランス語、ブラジルポルトガル語併記の冊子の作成
実施した場所	撮影・取材 葛城市内 編集会議 葛城市きてみてネット事務所 (葛城市疋田) 他
参加者・実施回数等	撮影・取材 5回 (のべ 15名) 編集会議 6回 (のべ 20名) その他、メール電話等を利用し適時編集打合せ等を実施
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	<p>審査委員会から意見のあった「既存の観光パンフレットとの相乗効果が期待できる冊子の作成」を基本に、葛城市が「一目でわかる」事と葛城市の魅力である「日本的な美しさ」を表現した冊子にすべく検討した。</p> <p>文章については、できるだけ平易にし、小学生も利用できるように配慮した。</p> <p>予算的な制約もあったが、翻訳や原稿作成は、会員の協力で行なうことができた。また、写真については、葛城市在住の樺本九美夫氏の協力を得ることができ、質の高いものとなった。</p>
得られた効果	<p>多国籍語で構成されたパンフレットが、葛城市で初めてできた。子どもたちが、いろいろな国の言葉にふれるきっかけとなる冊子を郷土の紹介をテーマとした冊子でつくる事ができた。</p>
今後の展望	<p>既存の観光パンフレットの多国籍版などに取り組み、外国人向けパンフレットの充実を図りたい。また、映像による葛城市紹介などにも取り組みたい。</p>
事業を実施してみた感想など	<p>いろいろな国の人を集めた「ウェルカムパーティ」など外国人向けイベントを開催し、活用していただきたい。</p>

この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式 8

事業実績報告書

(団体名：マルベリファーム梅室)

事業名	桑の木栽培をととした地域の景観復活活動
実施した場所	葛城市梅室地内の農地
参加者・実施回数等	マルベリファーム梅室の会員 参加延べ人数 105 名 実施回数 15 回
実施した内容 (詳しく記入して下さい)	梅室地内にある耕作放棄地 40a において雑木伐採から草刈りを数回行い、また、重機の使用も重ねながら、牛糞堆肥も使い営農できる状態の農地に復活させた。そしてマルベリファーム梅室の目的である地域の再生及び地域のコミュニティの絆を強めるために、六次産業化を図るために、今後、葉を活用する桑の木として一之瀬の 1 品種 300 本また、果実を活用するためにララベリー、アメリカンマルベリー、ポップベリーの 3 品種 60 本の植樹を行った。
得られた効果	耕作放棄地がよみがえったことにより、地域の景観が保全され、地域にやればできるという向上心ができはじめ、六次産業という一つの目標が定まったことにより、地域の集落営農的な企業発想の考えがより前向きな発想として芽生えた。
今後の展望	今後は、より具体的に六次産業化するため、プランニングからマネジメントそしてマーケティングという流れをより明確化し、農業法人等の設立を目指し地域の雇用にも役立っていきたい。
事業を実施してみた感想など	このような事業は単年度で成果が出るものではなく、ひとつの成果があらわれ始めるのは数年先である。今後、短期、中期、長期目標も定める必要もあるが、このような山間部の過疎的地域による村おこしに対して、長期的な視野での対応が必要であることが痛感した。

この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。